



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市横越総合体育館  
 試合区分：成年女子 1回戦  
 開催期日：2009年10月2日（金）  
 開始時間：10:00

GAME No. 1002C1

主審：山田 巧  
 副審：佐久間諒子

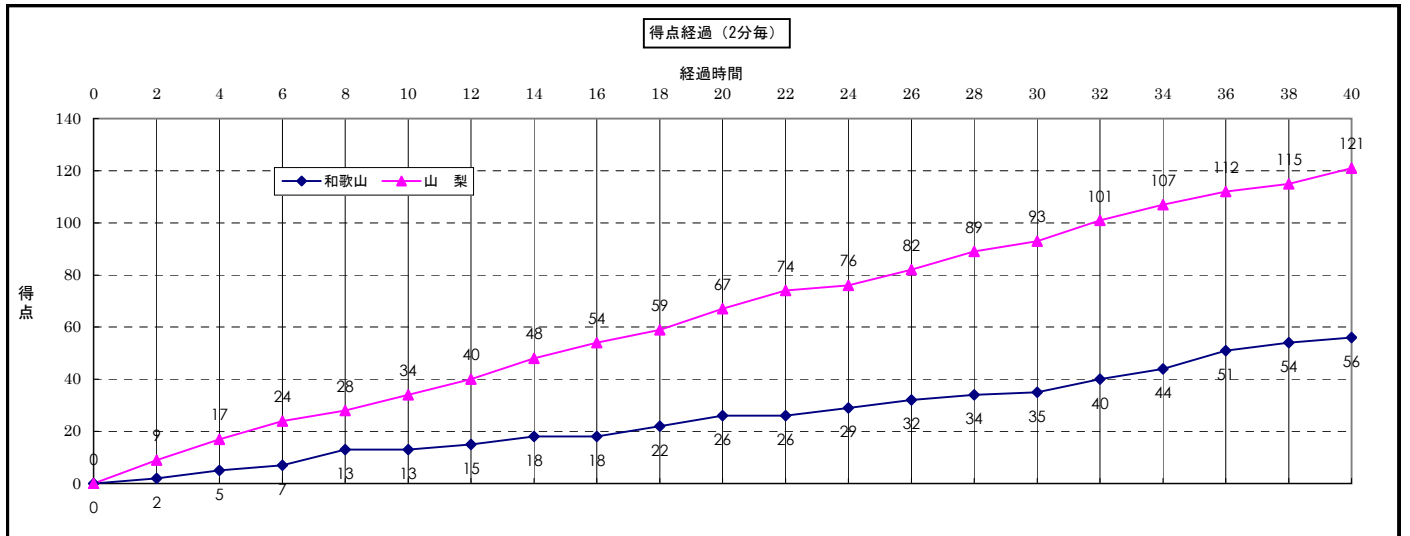
Team A	●		○	Team B
<b>和歌山</b>	56	13 -1st- 34 13 -2nd- 33 9 -3rd- 26 21 -4th- 28	121	<b>山梨</b>

TEAM A		和歌山					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		近江 郁子	2	0	1	0	1
5	*	武内 彩乃	8	1	2	1	3
6	*	杉浦 沙季	11	0	4	3	0
7	*	川崎 三輪	2	0	1	0	1
8		伊藤 有紗	0	0	0	0	0
9		井上 亜希	0	0	0	0	0
10		小森 華	7	1	2	0	2
11		原田 知那	4	1	0	1	1
12	*	岡田 綾菜	14	2	4	0	2
13		山本 美咲	8	2	1	0	1
14	*	中井 理恵	0	0	0	0	1
15							
Coach		児玉 昌比古					0
TOTAL			56	7	15	5	12

TEAM B		山梨					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松木 豊子	-	-	-	-	-
5		山田 知佳	14	4	1	0	5
6		赤池 めぐみ	0	0	0	0	0
7	*	浅石 奈津子	22	0	8	6	2
8		佐藤 望	9	3	0	0	0
9	*	岡田 美香	18	2	5	2	1
10		小沼 郁美	8	1	1	3	1
11	*	松元 裕依子	21	2	5	5	4
12	*	二宮 可南子	15	0	7	1	1
13	*	佐藤 美鈴	14	0	6	2	4
14		加藤 順子	0	0	0	0	0
15							
Coach		炭田 久美子					0
TOTAL			121	12	33	19	18

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	4:49	13:15	-	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	-	-		



ゲームレポート

\* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、和歌山はハーフコート、山梨はオールコートのマンツーマンディフェンスでスタート。山梨は激しいディフェンスから、速攻中心で速いバスケットを展開。山梨は立ち上がりで#7浅石のカットインシュート、#9岡田の3Pから流れをつかむ。序盤でペースをつかめない和歌山は残り5分でたまたらタイムアウトをとる。その後、和歌山#6杉浦(189cm)の高さを生かした攻めを中心に反撃する。しかし試合の流れは変わらず、13-34で1Qを終了した。

2Q、和歌山は#6杉浦のポストプレイを中心に反撃を試みるものの、山梨#11松元、#7浅石などが着々と加点し、差を広げ、26-67で前半を終了した。

3Q、開始早々から山梨は攻撃の手を緩めず、#9岡田の3Pや、#7浅石のカットインで連続得点を重ね、完全に試合の主導権を握る。和歌山は、#6杉浦と#7川崎のポストプレイを中心に反撃。さらに#11原田のカットインからのファウルによるフリースローなどで加点するが、なかなかペースをつかめない。着実に得点を続けた和歌山がリードを広げ、結局35-93で最終クォーターへ。

4Q、和歌山は#6杉浦をコートに戻し、切り替えの速い山梨に対抗する。しかし、山梨#8佐藤の3P、#9井上、#10小沼のカットインなどが効果的に決まり、点差は広がるばかり。和歌山も#6杉浦のリバウンドから、#5武内のレイアップシュートなどで必死に追いつく。さらに残り3分半でメンバーを入れ替え、山梨の速い展開に対抗。和歌山#11原田の3P、#4近江のレイアップシュートなどで対抗する。しかしスピードと運動量が最後まで落ちない山梨が56-121で試合終了。ディフェンス、オフェンスとも最後までオールコートで足を動かし続けた山梨が快勝し2回戦へと勝ち進んだ。

記載責任者	本間 昇 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-----------	---------------